

日没前後の交通事故死 大幅増加

■事故が起きやすい交差点の共通点■

■北海道・東京・愛知・大阪・福岡の人身事故発生件数ワースト1の交差点、主に次の特徴

- (1) 終日または通勤時間帯の交通量が非常に多い
- (2) 車線数が多い大きな交差点である
- (3) 交差点上に高速道路などの橋脚があり見通しが悪い

■内容としては、

- (1) 「前車の静動を見落としとして減速や停止に気づかない」
- (2) 「右左折時に横断歩道を渡る歩行者や自転車の確認不足」
- (3) 「対向直進車の見落とし」などを原因とした追突事故

午後4時 交差点 2歳男児はねられ意識不明の重体

「気付いた時には道に男の子が出てきていた」

交差点に、横断歩道や信号はなかった

◇子供・高齢者は、動く赤信号！◇

2016/10/16 13:02

15日午後4時30分頃、滋賀県の県道の交差点で、走行中の車が一人で歩いてきた男の子(2)をはね、男の子が意識不明の重体。両親は男の子が家の外に出ていたことに気付いていなかったという。交差点に横断歩道や信号はなかった。車を運転していた女性(37)は「気付いた時には道に男の子が出てきていた」と話している。

気のゆるみ スピード出し過ぎていませんか？

交差点 「青」信号で発進時 前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

事故の要因は、運転者の
気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま…にある

子供・高齢者は、動く赤信号！

店舗の駐車場から出る時…右から来た自転車と衝突

救護せず、走り去る ひき逃げ容疑で派遣社員を逮捕

◇会社の駐車場・自宅の駐車場から出る時も、左右の安全確認を確実にしましょう◇

◇もしも、もしも、もしも、…のときは…まず、救護◇

2016.10.17 07:07

警察は15日、自動車運転処罰法違反(過失致傷)と道交法違反(ひき逃げ)の容疑での派遣社員の男性容疑者(46)を逮捕した。逮捕容疑は13日午後8時ごろ、長野県で軽乗用車を運転し、店舗駐車場から県道に出る際、右側から来た、近くの病院臨時職員の女性(50)の自転車と衝突。女性に右膝の靭帯(じんたい)を切る重傷を負わせながら、救護せずに走り去ったとしている。

午後5時 駐車中の軽トラ後方で作業中、はねられ死亡

◇車、バスの陰から…人が来るかも知れません◇

2016年10月16日 00:03

15日午後5時35分ごろ、栃木県の農道で、路上で作業していた、農業女性(72)が、会社員男性(35)の乗用車にはねられた。女性は間もなく出血性ショックで死亡した。警察によると、現場はセンターラインがない幅員6.1メートルの農道。女性は、駐車中の軽トラック後方で作業中だった。

バックさせながら駐車 店舗に衝突 1人けが

◇バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう◇

◇バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』◇

2016年10月15日 14:27

15日午後0時5分ごろ、栃木県の飲食店で、無職男性(74)の乗用車が店舗建物に後部から衝突、建物東側の壁や窓ガラスを破損した。店内にいた、中学3年男子生徒(15)が右ももに擦り傷を負うけがをした。警察によると、男性は車をバックさせながら駐車する際に衝突したという。

昨年6月の砂川での5人死傷事故、17日に初公判

危険運転の共謀が焦点

2016年10月15日 15時45分

北海道砂川市の国道で昨年6月、会社員の男性=当時(44)=ら一家5人のうち4人が死亡、1人が一時重体となった事故で、自動車運転処罰法違反(危険運転致死傷)罪などに問われたA被告(28)とB被告(27)の裁判員裁判初公判が17日、札幌地裁で開かれる。検察側は両被告に対する主位的訴因として、全国的にも例が少ない「危険運転致死傷罪での共謀」を適用。地裁が認めるかが焦点だ。